



ジョニーの記憶

レトロものがたり

作：アポロ

ジョニーの記憶

ロボットものがたり

これは、今から少しだけ未来のおはなし……

いん石が落ちてきて地球は砕けました。

地球のかけらは、小さな星となって、

月と同じように地球の周りをまわっています。

自然はよみがえり、

わずかに生き残った人とロボットが暮らしていました。

人はロボットの助けを借りながら暮らし、

ロボットは、人と共に成長することを喜びと感じていました。



ジョニーがいつものように壊れたロボットを修理していました。

どこか見覚えのある、ロボットでした。

お腹の中から出てきたものは、息子ランウェイが子どもの頃に遊んでいたはずのレトロなロボットのおもちゃでした。

何体も何体も出てきて、このお腹の中のロボットのおもちゃが壊れた原因かもしれないと、ジョニーは悲しくなりました。

ジョニーは月に暮らしていました。

年齢を重ねた人々は月に移住して、好きなことをしてのんびり過ごす人が多かったのです。

テアイテ星では、ジョニーとその仲間たちが、

AIロボットの研究と開発に力を入れていました。

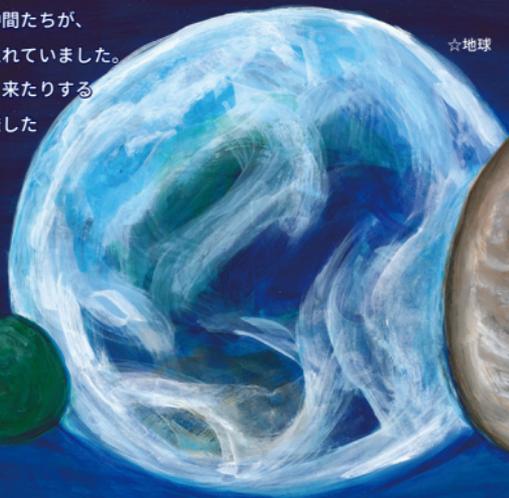
地球とその家族の星たちを行ったり来たりする

宇宙船も、ジョニーのチームが開発したものでした。

☆カベル星



☆地球



☆テアイテ星



少し前までテアイテ星で働いていたジョニーでしたが、軍事ロボットの開発にAIが使われるようになり、反対していたジョニーは、なかば月へと追いやられたのでした。

☆月



ジョニーは、地球に暮らしていた頃のことを思い出していました。

仕事が忙しく、家に帰ることもなくなり

子育ては、妻のネウラに任せきりでした。

かまってくれないジョニーに寂しさを感じていたネウラは、
ジョニーとその仕事を避けるようになっていました。

ランウェイには、ジョニーのような仕事に就いてほしくないと、
思っていたのです。



ネウラは、人はいつか、
ロボットに支配されてしまう。
そんな世界で暮らしたくない
と思っていました。
土と共に生きることこそ、
人の生きる道だと！

ためしよみ

は

ここまでです